

総 説

1 予算の概況

(予算編成の背景)

我が国の経済は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済で弱さが見られており、新興国経済の減速による景気の下振れリスクが懸念されるなど、極めて不透明な状況にある。こうした情勢を踏まえ、国においては、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策などをとりまとめたところである。

(本県予算編成の基本的な考え方)

本県の財政状況は、国の地方財政計画において、一般財源総額が、平成27年度を上回る額が確保されたものの、歳出面では、退職手当の高止まりや社会保障関係費などの義務的な経費の増加が見込まれ、依然として厳しい状況が続いている。

このような中、関東・東北豪雨及び東日本大震災からの復旧・復興に全力で取り組むとともに、防災体制の充実強化等に必要となる各種事業を計上したところである。

また、平成28年度は新たな県総合計画のスタートの年であることから、人口減少社会にあっても、安全・安心、快適な生活環境のもとで、雇用がしっかりと確保され誰もが個性や能力を発揮しながら主体的にいきいきと活躍することができる「人が輝く元気で住みよいいばらき」を創造するため、以下に掲げる重要政策を積極的に推進することとしたところである。

○人が輝くいばらきづくり

- ・ 自主性・自立性を身に付け生きる力を育む教育の推進
- ・ 地域と世界の未来を拓く人材の育成
- ・ 一人ひとりが尊重され活躍できる社会づくり
- ・ 生涯にわたって学び合う環境づくりと文化・スポーツの振興

○活力あるいばらきづくり

- ・ 科学技術を活かしたイノベーションの推進
- ・ 日本の発展をリードする力強い産業づくり
- ・ 農林水産業の成長産業化
- ・ 人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり

○住みよいいばらきづくり

- ・ 少子高齢化に対応した医療・保健・福祉が充実した社会づくり
- ・ 人にやさしい快適な生活環境づくり
- ・ 安全・安心な暮らしが確保された社会づくり
- ・ 人と自然が共生する持続可能な環境づくり

(予算規模)

当初予算

平成28年度の一般会計の当初予算は、歳入歳出ともに、1兆1,208億200万円で、平成27年度当初予算1兆1,613億4,300万円に比較し、405億4,100万円の減で伸び率は△3.5%であった。

また、特別会計は13会計で、当初予算額は2,649億9,500万円となり、平成27年度の特別会計3,337億円に比較し、687億500万円の減で伸び率は△20.6%であった。

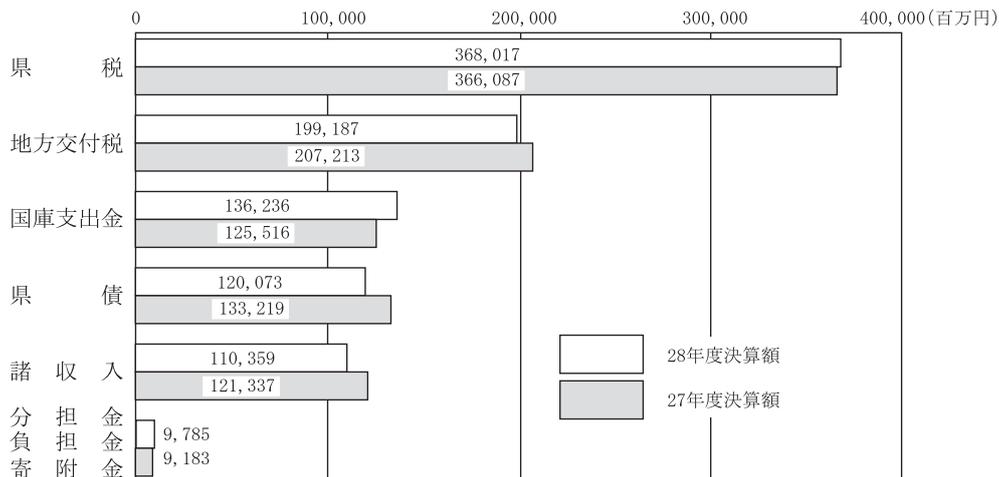
補正予算

中小企業融資資金貸付金の実績減等により、一般会計で80億300万円減額補正を行い、最終予算額は1兆1,127億9,900万円となった。これを平成27年度最終予算額1兆1,922億9,200万円と比較すると、794億9,300万円の減で伸び率は△6.7%であった。

また、特別会計における補正予算は、79億4,300万円減額補正し、最終予算額は2,570億5,200万円となった。

また、国庫等依存財源（地方譲与税，地方特例交付金，地方交付税，交通安全対策特別交付金，国庫支出金，県債）の構成比は，43.8%で平成27年度の43.9%に比して0.1ポイント下回った。

なお，歳入の主なものを平成27年度と比較すると図表のとおりである。



一 般 財 源

平成28年度の一般財源は，7,041億1,300万円と平成27年度の7,286億2,200万円に比し，245億900万円の減で伸び率は△3.4%となり，平成27年度の伸び率11.1%を14.5ポイント下回った。

増減の内訳は，

県 税	19億3,000万円
地方譲与税	△79億6,700万円
地方特例交付金	5,700万円
地方交付税	△80億2,600万円

となっており，県税収入の対前年の伸び率は0.5%，地方交付税は△3.9%であった。

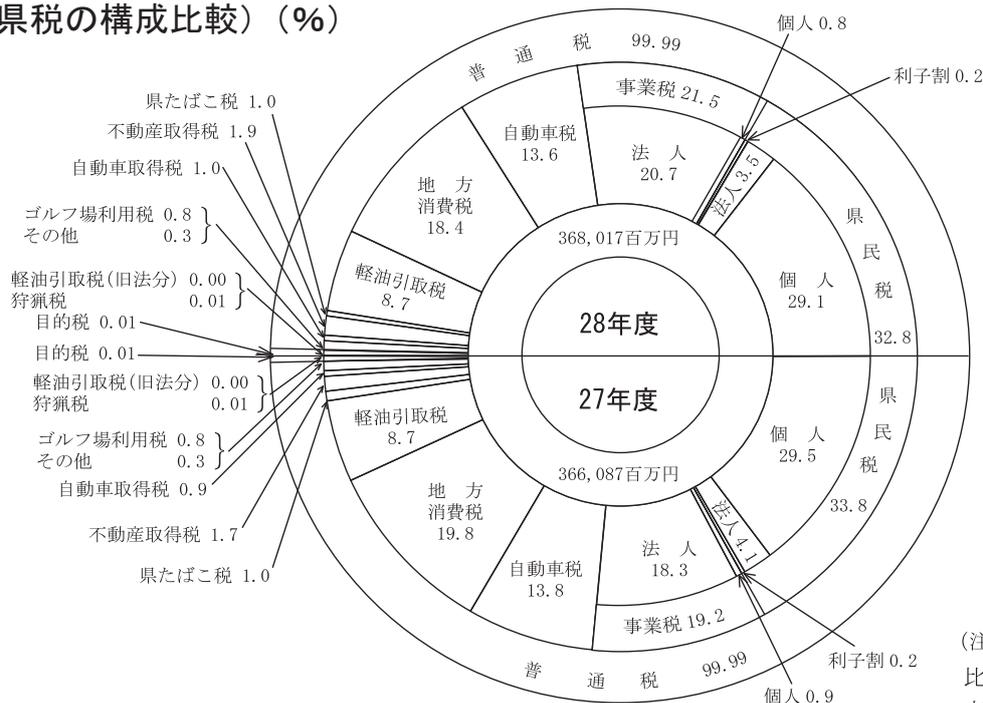
また，県税収入の増減の主なものは，

事業税	91億5,000万円（税率引き上げの平年度化）
地方消費税	△47億6,100万円（輸入額の減）
県民税	△34億2,700万円（税率引き下げの平年度化）

等である。

なお，税収総額に対する各税目の構成比は図表のとおりであり，県税の徴収率は98.1%（平成27年度97.7%）であった。

（県税の構成比較）（%）



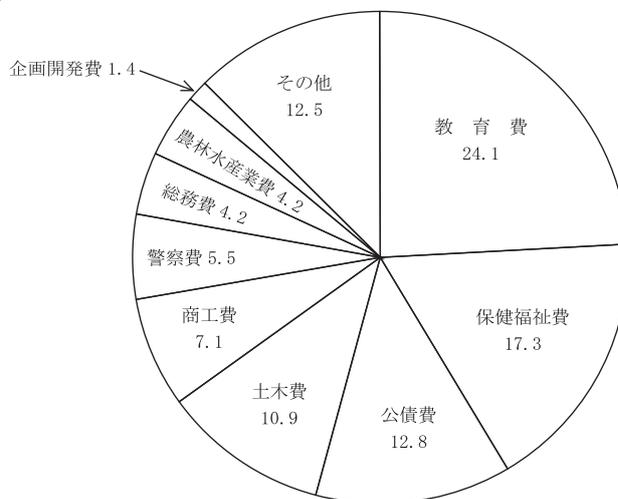
(注)目的税については，構成比が0.0%となるため，少数点以下第2位まで記載。

(歳 出)

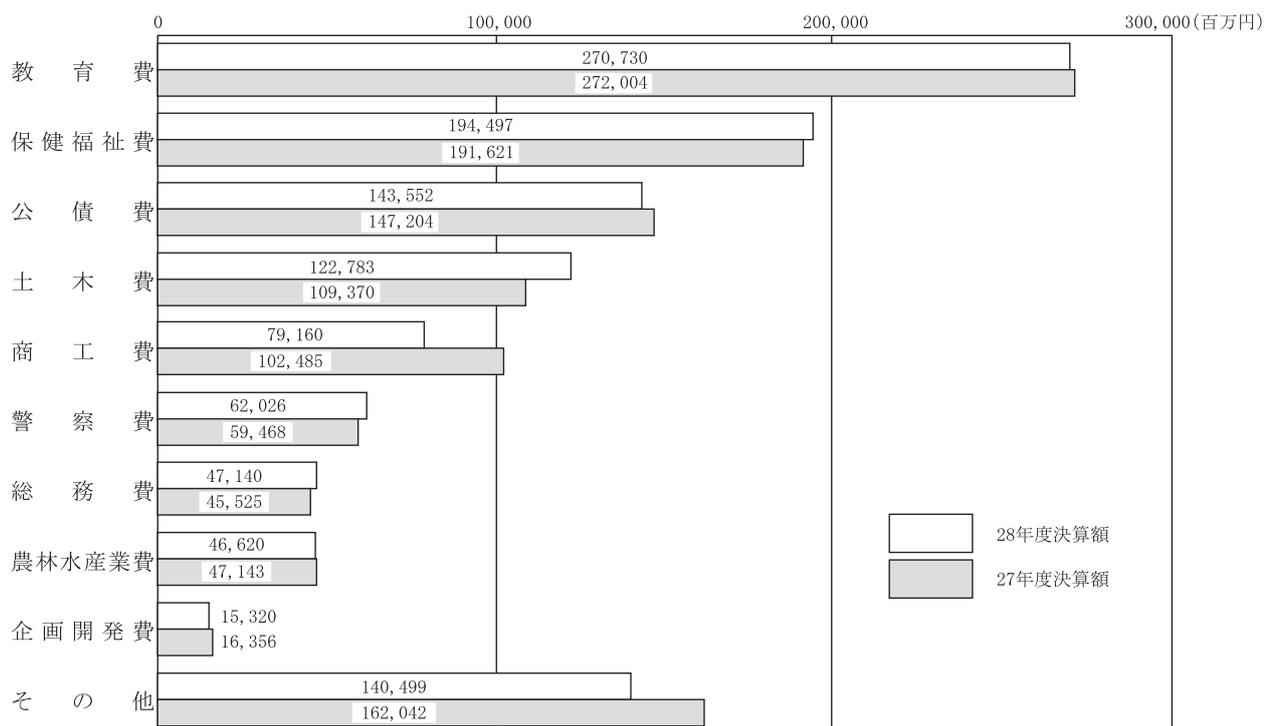
目的別歳出の概況

平成28年度における一般会計歳出決算額は、1兆1,223億2,600万円で、その目的別構成比は、図表のとおりである。

(目的別歳出の構成比) (%)



また、目的別歳出の主なものを平成27年度と比較すると図表のとおりである。



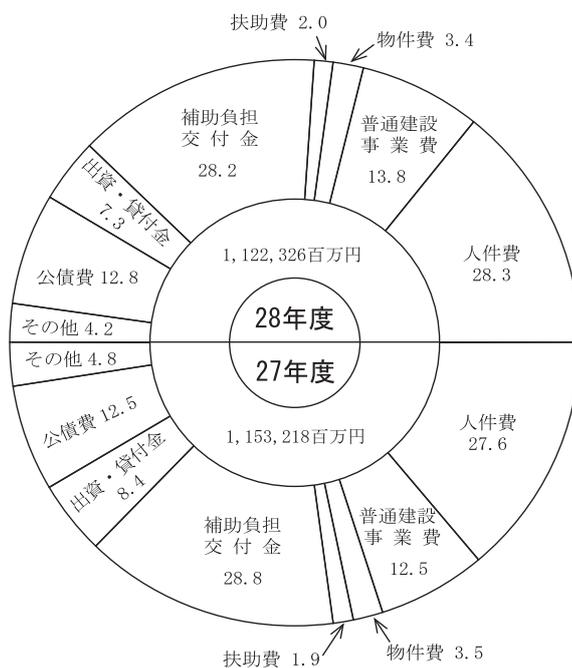
性質別歳出の概況

性質別歳出の構成比は図表のとおりであり、その主なものは、

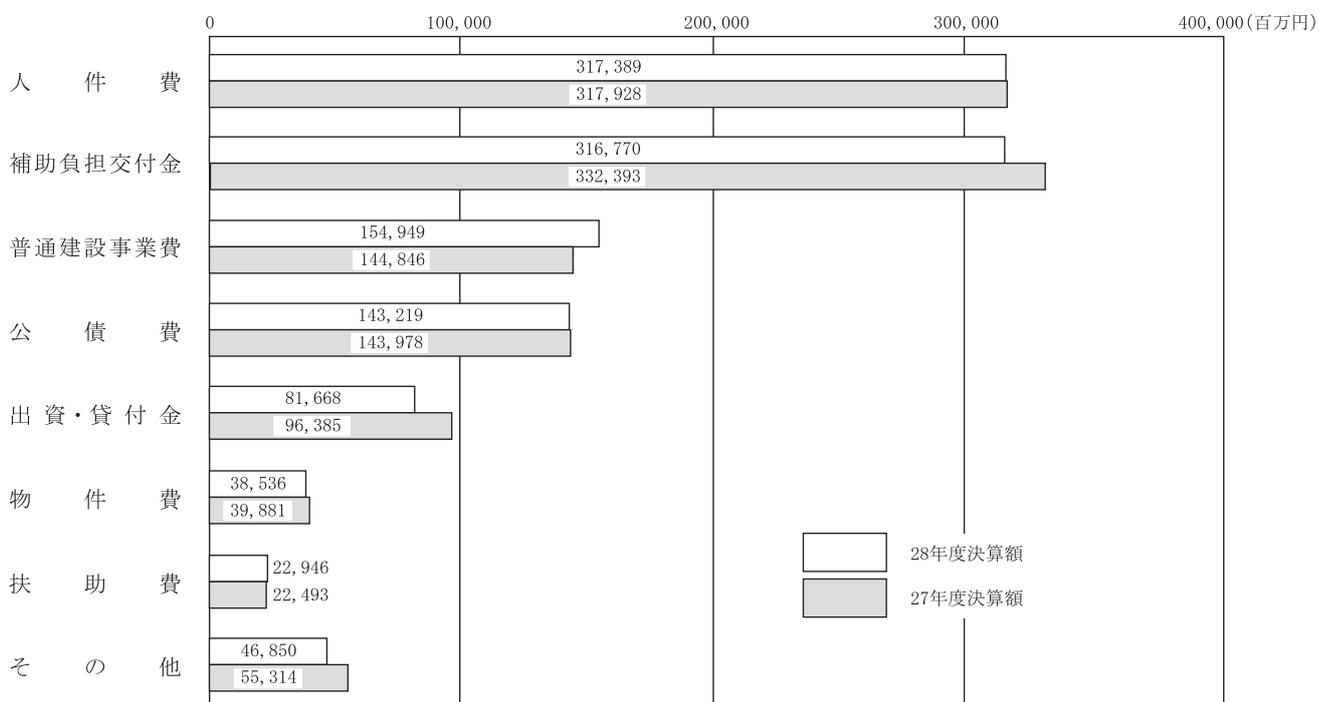
人件費	3,173億8,900万円 (構成比 28.3%)
補助負担交付金	3,167億7,000万円 (構成比 28.2%)
普通建設事業費	1,549億4,900万円 (構成比 13.8%)
公債費	1,432億1,900万円 (構成比 12.8%)

である。

(性質別歳出の構成比較) (%)



また、性質別歳出の主なものを平成27年度と比較すると図表のとおりである。



重要施策（提案説明）の執行状況

(単位：千円)

事 業 内 容	当初予算額	補正予算額	最終予算額	決 算 額	
関東・東北豪雨及び東日本大震災からの復旧・復興	36,607,135	11,238,350	51,147,452	50,994,655	
国の施策を踏まえた対策（地方創生・T P P対策・一億総活躍社会関連）	7,145,483	△ 733,475	8,901,899	8,685,913	
人が輝く いばらきづくり	自主性・自立性を身に付け生きる力を育む教育の推進	12,710,423	731,645	12,569,917	12,529,275
	地域と世界の未来を拓く人材の育成	64,058	△ 9,219	54,839	51,892
	一人ひとりが尊重され活躍できる社会づくり	19,869	△ 1,921	17,948	17,374
	生涯にわたって学び合う環境づくりと文化・スポーツの振興	4,709,418	△ 1,951,452	3,603,187	3,518,640
活力ある いばらきづくり	科学技術を活かしたイノベーションの推進	21,051	△ 7,985	13,066	11,883
	日本の発展をリードする力強い産業づくり	95,432	△ 1,658	93,774	92,303
	農林水産業の成長産業化	2,334,483	△ 1,474,768	859,715	740,957
	人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり	28,508,279	△ 2,782,340	20,961,549	20,601,890
住みよい いばらきづくり	少子高齢化に対応した医療・保健・福祉が充実した社会づくり	8,821,465	△ 1,706,214	5,356,921	5,257,515
	人にやさしい快適な生活環境づくり	34,278	△ 4,763	29,515	29,353
	安全・安心な暮らしが確保された社会づくり	1,660,905	1,597,707	3,258,612	3,251,769
	人と自然が共生する持続可能な環境づくり	240,205	△ 10,861	229,344	225,962